

〇〇〇〇大学
広報担当者様

質 問 書

京都市に対するコロナワクチン集団接種の要望の有無

京都府向日市*****

電話：**-****-****

大学** 平 真美

前略、取り急ぎ用件のみ申し上げます。

京都市の門川大作市長は4月7日の記者会見で、新型コロナウイルスのワクチン接種を大学単位で実施できるよう、国に要請する意向を明らかにしました。

これは大学側からの要望があったとのことですが、貴校におかれまして、大学単位で集団接種できるように京都市に対して要望を出されたのでしょうか？

*該当する項目にチェックをお願いします。

要望した 要望していない 要望する予定

回答方法はメールまたは FAX、お電話のいずれかご都合の良い方法でお願いします。

FAX: ***-***-**** TEL:***** ***@*****

お願いと追加の質問

若者は日本の宝です。

まだ治験段階である実験ワクチンを学生に打たせる要請はしないようお願いいたします。

1.無症状の病気に対して、症状を抑える目的のワクチンを強要することはおかしいのではないのでしょうか？

2.感染を防ぐ効果はわからない、期待できないと厚生労働省の資料にあります。なんのための接種なのでしょうか？

3.接種後の何らかの副反応が出る割合が8割というニュースもあります。何もしなければ全国民のほとんどが無症状という現状があるにもかかわらず、どうして集団接種をする必要があるのでしょうか？

上記3点についてもご回答をお願いします(任意)。

ご回答いただけない場合も、この機会に冷静に数値を見て話し合う機会を作ってくださいませよう、お願いいたします。

*添付資料をご確認ください。

- ・問題の角川市長の会見ニュースソース
- ・コロナウイルス国内の発生状況など（厚生労働省）
- ・厚生労働省_新型コロナワクチン接種_高齢者向け総合案内_表1_11K_210405-5P.pdf
- ・医療従事者等への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について（厚生労働省）

最後に、ワクチンの危険性についてお伝えいたします。

1. コロナワクチンは実験ワクチンであること

日本で使用されているファイザー/ビオンテック製コロナワクチンは、正式承認も得ておらず、感染予防や重症化予防なども証明されていない実験ワクチンである。メーカーは「遺伝子の断片（mRNA）をヒト細胞核に打ち込んで、「コロナワクチン抗体」を作り出す」と説明しているが、設計通りに機能するかどうか、打ってみないとわからない。一方、これが実験ワクチンと知らない被接種者は、予想していなかった危険や有害事象にさらされかねない。被接種者に一方的な害をもたらす実験ワクチンは受け入れられない。

2. これまで使われたこともない物質が使われていること

同ワクチンには、これまで使われたことがなく、安全性データもないポリエチレングリコール（PEG）などが含まれている。PEGは日用品（化粧品、薬剤、工業用品）に多用されているため、抗体を持つ人が多い（例：米では72%）が、それら抗体保持者は、ワクチンに含まれるPEGに過敏に反応し、アレルギー、アナフィラキシーなどを起こす可能性が高いと警告されている。

実際、コロナワクチン接種後のアナフィラキシー発生率が高いことが報告されており、高齢者や一般市民ではこの PEG 抗体暴走による健康被害はさらに多くなるだろう。

3. 「抗体依存性感染増強 ADE」を引き起こす可能性があること

ADE とは、ワクチンによってできた抗体が、ワクチンの目的とは逆に、目的感染症の重症化や死亡を招く事象である。これは、コロナウイルス既感染者は、コロナワクチン接種によって ADE 誘発の可能性があることを示しており、接種前の抗体検査などを行わない限り、市民は無用な危険にさらされることになる。ちなみに、ADE は過去のコロナワクチン開発中、多くの実験動物が死亡したことから明らかになったが、今回のコロナワクチンに関しては、どのメーカーも動物実験を行っていない。

4. 治験段階から多くの副作用、死者が出ていたこと

コロナワクチンはヒト治験もおわっていない。なぜなら、治験段階で、死亡や重篤な副作用があいついだため、そのままヒト治験を続けると、緊急使用許可や特例承認が得られない恐れがあったため、「見切り発車」するしかなかったと思われる。適正な手続きも経ていないワクチンを「安全」と称するのは、悪質な詐欺だ。

5. コロナワクチンの被害は事前に「警告」されていたこと

この点については二例だけをあげる。

○米の Whelan 博士（小児科医）は、CDC の VRBPAC（予防接種実施に関する諮問委員会）の諮問に答え「治験では評価されなかったが、コロナワクチンは、脳、心臓、肝臓、腎臓に微小血管損傷（微小血管血栓）を引き起こす可能性がある」とコメントしている。

○元ファイザー社の副社長・研究者の Yeadon 博士はイギリス健康当局に対し；「不完全な開発状態で新ワクチンを使用するのは、実験目的に限られている。安全性の裏付けもないワクチンを広範な人々に急いで接種しようとしている人々の動機に疑いを持っている」と公開意見を出している。

6. すでにワクチン接種者に多くの副作用・死亡が出ていること

3月19日付け米 CDC ワクチン有害事情報告によれば、昨年12月14日以来の有害事象総数48,495件のうち、コロナワクチンによるものが38,444件にも上っている。コロナワクチンによる死亡も1000件以上、また永久障害、出産異常などの数も多い。被害者の多くは、先行接種の対象となった医療関係者、それも働き盛りの若年～壮年が多い。一方、EUでは養老院などにおける集団接種後、高齢者の大量死亡事件が多く起きている。

以上